

<舞台用語集>

用語	内容
上手(かみて) と 下手(しもて)	舞台から客席を見て、左側が上手で右側が下手。 (客席から舞台を見て、右側が上手で左側が下手)
緞帳 (どんちょう) 緞付き(どんつき)	舞台最前の幕のこと。大変重く、上から降りて来るので挟まれないように注意。 緞帳が床に付く瞬間を「緞付き(どんつき)」という。
内幕(うちまく) / (中割り:なかわり)	舞台の前と奥を分ける幕。大抵は横開き。
紗幕 (しゃまく)	透けた幕のこと。照明を当ててシルエットなどを写す。
ホリ幕 (ホリゾント幕) / 背景幕	舞台の一番奥の幕と考えてよい。(実際は最奥ではないことも)
舞台袖 (ぶたいそで) / 袖(そで)	舞台両側の待機場所。舞台装置や大道具等があり、袖幕によって隠されている。
袖幕 (そでまく)	舞台両側にある幕のこと。照明装置や舞台袖を隠す為にある。
東西幕 / ダメ幕	広い舞台の場合は袖幕内に直角に幕が張られていることがあり、その幕のこと。
八百屋 (八百屋舞台)	舞台の奥に向かって上のように床が傾斜している舞台。 現在の日本ではあまりないが、欧米ではよくある構造。
暗転 (あんてん)	舞台上が真っ暗になること。
板付き (いたつき)	舞台上でポーズを取った状態で、照明が入り(幕が上がり)、踊りが始まること。
掃ける (はける)	左右の袖幕内に入ること。
出 (で)	舞台に出るタイミングのこと。舞台への出方。
リノリウム (リノ)	ポアントを履いて踊る為、舞台の床やスタジオの床に敷くゴムのシート。
場みり(ばみり) / バミリテープ (ばみる=ばみりを貼る)	舞台の床の上に位置の目印として付けられる印。ビニールテープやガムテープ、蓄光テープ等が使われる。 大抵は最低でも舞台中央の前・中心・後ろには付けられる。 (バミリを見過ぎて踊ると頭や視線が下がるので注意)
芯	舞台中央や隊列の真ん中のこと。
シンメ	シンメトリー(左右対称)のこと。
スポット (スポット・ライト)	舞台正面から狭い範囲で当てられる照明。
ピン・スポ (ピン・スポット)	原則、一人の人物に正面から当てられる照明。
サスペンション・ライト (サス)	舞台の真上から照らされる照明。最前のサスペンションのことを指す場合もある。 (最前のサスペンションより前に出してしまうと、スポット以外では照明が当たらない状態になるので、特に群舞では注意。)
トップ・ライト	対象物を真上から当てる照明のこと。
バック・ライト	後ろ側から当てられる照明のこと。シルエット等を出す時などに使われる。
サイド・ライト / 横照明	袖幕内に設置された舞台横からの照明。
ボリゾント (ホリゾント・ライト)	舞台最奥の床の上に、上部に向かって横一列に設置された照明のこと。 ホリゾント・ライトに照らされた幕や壁の事をいう場合もある。 (ホリゾント・ライトは大変熱く、つまずき易いので注意)
フット・ライト	舞台最前の下から当てる照明。バレエではあまり使用しない。

用語	内容
ゲネプロ (ゲネ、ゲネリハ)	本番直前にほぼ本番通りに舞台上で行う通し稽古のこと。 「ゲネラルプローベ」の略。
場当たり	舞台上の位置の確認。踊る際の歩幅や歩数、向きや角度を確認する。
通し (通し稽古)	最初から最後まで通して行う練習。
ダメだし	舞台稽古や通し稽古などで、直さなくてはならない部分、再考しなくてはならない部分を先生が確認・注意すること。
楽屋入り / 入り (入り時刻)	楽屋に入る時刻のこと。
楽屋出 (楽屋出時刻)	楽屋を出る時刻、出なければならぬ時刻のこと。撤収時刻。
ワンベル / 1ベル / 予鈴	公演や演技(部・幕)が始まる5分前に鳴る予鈴のこと。
本ベル / 本鈴	公演や演技(部・幕)が始まるベルのこと。
仕込み と ばらし	舞台スタッフが舞台の設置をすることを「仕込み」、舞台装置を片付けて撤収することを「ばらし」と呼ぶ。
舞監 (ぶかん) 芸監 (げいかん) バレエ・ミストレス	舞台監督の略。(発表会では舞台スタッフのトップの方) 芸術監督の略。(発表会では主宰の先生や、総監督をして下さる先生のこと) 踊りやマイムの指導をして下さる女性の先生のうち、一番偉い先生のこと。
アップ	各自で行うウォーミング・アップのこと。
クラス・レッスン	リハーサル室や舞台上で、本番前に皆で行うレッスンのこと。 (クラス・レッスンは大人にはないことも多い。その場合は各自で場所をみつけて行わなければならない。)
マチネ	昼の公演のこと。
ソワレ	夜の公演のこと。